

#### 4・14 普天間基地即時撤去を求める昼休みデモ出発前あいさつ原稿

今日のデモ行進は、米海兵隊普天間基地の即時閉鎖と全面撤去・返還を求める全国の統一行動に呼応して計画されました。

普天間基地がいよいよ重大な局面を迎えています。

鳩山首相は5月末を目標に決着させると言っていますが、報道では

- ① 鹿児島県徳之島に普天間基地のヘリ部隊を移駐させ、
- ② 辺野古に隣接する海兵隊基地キャンプ・シュワブに500ヘリのヘリパッドを新設
- ③ うるま市のホワイト・ビーチ沖に、辺野古の計画案より6倍も広い3000ヘリ級滑走路を3本持つ巨大基地をつくる。
- ④ 現在の普天間基地はそのまま残して自衛隊に移管し、いざという場合に米軍に使わせる方針と言われます。負担どころか、「たらい回し」で新たな基地をつくる最悪の案です。

いったいなぜこのようなことになるのか。

それは、鳩山連立内閣が、沖縄県民の「移設反対」「基地撤去」の意思よりも、アメリカの意向に添うことを優先させ、日米同盟絶対の立場にしがみつき、海兵隊の「抑止力」なるものにとりつかれているからです。

普天間基地問題は無条件撤去と即時返還以外に解決の道はありません。政府は「移設条件付き返還」の方針を改め、無条件撤去をアメリカに要求して直ちに堂々と交渉すべきです。

沖縄では名護市長選勝利の後、県議会、名護市議会、うるま市議会などが県内移設反対の意見書を全会一致で採択し、41全市町村が県内移設に反対を表明しました。

4月25日には超党派で大規模な県民集会が開かれます。

2万7千人の徳之島でも3町長が反対を表明、3月28日には4200人が抗議集会が開かれました。

岡山県でも、この沖縄県民のたたかいに連帯し、地域や職場のすみずみから米軍基地撤去、安保条約廃棄のたたかいを起こしていきましょう。5月9日には沖縄現地からの報告講演会も予定しています。

今日、東京では「沖縄県民と連帯し、普天間基地の即時・無条件撤去を求める4・14中央集会」が開かれます。私も県安保破棄実行委員会を代表して集会に参加するため、デモ行進終了後上京します。ともに頑張りましょう。